



無印良品野々市明倫通りでは、取り組みや今後の展望を聞きました。

## 野々市市の好き・困りごとを発見！

### SDGs パンフレット作成フィールドワーク

市では、若手市職員で組織するSDGs推進ワーキングチームと市内大学生が集まり、株式会社LODUのサポートを受けながらSDGsアクションプランパンフレットの作成に取り組んでいます。第2回となる8月30日(火)は、グループに分かれて公共施設やSDGsの取り組みを行う店舗などを訪問し、担当者へインタビュー。聞き取った市の魅力・課題や「こんなことができればもっと楽しい！」というアイデアを地図にマッピングし、野々市市の理想像を膨らませていきました。

## もしもコンサート中に災害が起きたら!?

### 陸上自衛隊第10音楽隊 避難訓練コンサート

9月3日(土)、文化会館フォルテで避難訓練コンサートが開催され、来場した約350人が陸上自衛隊第10音楽隊の演奏を楽しみました。避難訓練コンサートとは「コンサート中に災害が起こったら……」という想定で、実際のコンサートの合間に避難訓練を行うものです。昨年は新型コロナの影響でやむなく中止となり、今年ようやく初開催にこぎ着けました。当日は、第1部終了直後に大きな地震が発生した想定で避難開始。来場者は、スタッフの指示に従い円滑に避難していました。



警報が鳴ったら、まずは落ち着いて身の安全を確保！



市内で158人が88歳、42人が100歳以上となりました。

## 長寿の節目を祝して

### 敬老福祉金の贈呈

市では長寿を祝福し、米寿(88歳)などを迎えた市民の皆さんへ敬老福祉金を贈呈しています。9月7日(水)には、太平寺一丁目の丸山利輔さんを栗市長が訪ね、花束などを届けました。丸山さんは、平成17年に開校した石川県立大学の初代学長で、現在も同大学の参与として現役で勤務しています。丸山さんは「健康が一番なので、毎朝1時間歩いたり、週に1回はスポーツランドのプールで泳いだり体を動かすようにしています」と元気の秘訣を話してくれました。



パイプオルガンと能の協演は県立能楽堂でも初めてのとのこと。

## オルガン 能と風琴 伝統の協演

### 野々市市能楽愛好会公演会

9月11日(日)、県立能楽堂で野々市市能楽愛好会の公演会が行われ、宝生流能楽師島村明宏氏や能楽愛好会会員による袴能・連吟のほか、野々市子ども能楽教室の小中学生による仕舞など多彩な演目が披露されました。珍しい取り組みとして、移動式パイプオルガンとの協演も実現。シテ方宝生流師範木戸玲子さんの舞に、笛と太鼓、オルガニスト黒瀬恵さんによるパイプオルガンの音色が重なりました。和洋の伝統が融合した幻想的な舞台に、観客は引き込まれていました。

# まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。  
市民協働課 ☎227-6056

## 「やってみよう！」が爆発するまち こどものまち Bom Bom Town

8月21日(日)、22日(月)の2日間、にぎわいの里ののいちカミーノで小学生を対象にした体験型消費者教育イベント「こどものまち Bom Bom Town」が開催されました。

このまちの疑似通貨「ボンク」を手に入れる方法は大きく二つ。一つ目は起業。何がいくらで売れるのか、どんなゲームが喜ばれるのかを分析し、起業相談所に行って出店します。もう一つは就職です。ハローワークで募集している職業を体験し、まちに貢献した対価として給与をもらいます。このほか、買い物や納税、選挙などの社会体験を通じ、子どもたちは楽しく社会の仕組みを学んでいきました。また、2代目キャプテンには縄本さんが選ばれ、「みんなが助け合って仲良く元気に楽しく過ごせるまちを目指します」と話してくれました。



①1日目の参加者の皆さん「明日もがんばろう！」②2代目キャプテンの縄本さん③パトロール中の警察官。事件発生か!?!④造幣局の仕事の様子。通貨を発行するため正確に裁断中⑤疑似通貨「ボンク」を使ってショッピング⑥病院では、赤ちゃんの世話も仕事の一つ⑦子どもたちが作成した売り物やゲームは、どれも趣向を凝らしたものばかりでした



野々市の歴史を身近に感じることでできるイベントでした。

## おなかも心も満腹に

### nono1 みんなの食堂 in 郷土資料館

楽しい軽作業と食の提供を通じた集いの場を目指す「nono1 みんなの食堂」は、7月31日(日)と8月28日(日)の両日、市指定文化財でもある郷土資料館のペンキ塗り作業を行いました。8月28日(日)には、7月に塗り残した部分を中心に作業を行った後、野々市ブランド認定品であるチャンピオンカレーと鰻カツの弁当が参加者へ配布されました。ペンキだらけになりながらも弁当を手にした参加者の後ろ姿は、充実感に満ちあふれていました。

## 通りを彩る色とりどりの花

### 本町三丁目花いっぱい運動 閉会式

本町三丁目では今年度、コロナ禍での新たな町内会活動として「花いっぱい運動」を実施しました。まず、5月に寄せ植え教室で花苗を植え、各家庭に持ち帰り育てました。その成長を撮影した写真を「花フォトコンテスト展示会&投票会」と題して8月2日~27日まで郷土資料館で展示し、来場者が『お気に入り写真』へ投票。8月28日(日)の表彰式では、得票数が上位の作品をスライドで紹介した後、栗市長がプレゼンターとなり上位3作品を表彰しました。



子ども会ラジオ体操表彰式やおカリナコンサートも同時開催。